

《HR5000シリーズ 停電時 PCの電源切断手順》

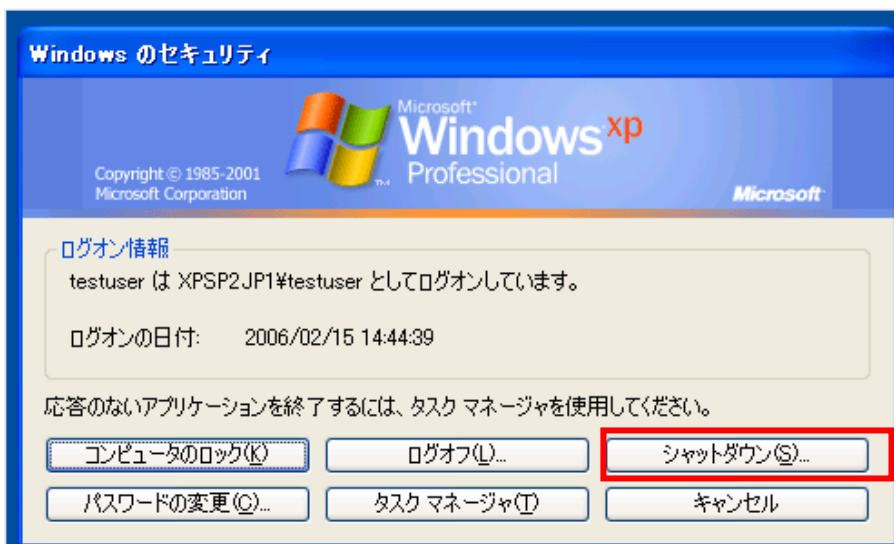
《PC本体の電源の切り方》

- ① 一度タイトル画面まで戻ってからキーボードの「Ctrl」+「Alt」+「Del」の3つのキーを同時に押し、「Windows のセキュリティ画面」を開きます。



HR5000PC2 のタイトル画面

- ② 画面に表示されている6つのボタンのうち、「シャットダウン」をクリックします。



- ③ 「実行する操作を選択してください。」と表示されますので「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。



- ④ 各ソフトとWindowsが順次終了したのち、モニター画面が真っ暗になります。
それまで時間がかかりますのでしばらくは何も操作せずそのままお待ち下さい。
モニター画面が真っ暗になったら、PC本体の電源ランプ(緑)が消灯していることを確認します。
- ⑤ UPS(無停電電源装置)の電源ボタンを押して電源を切断します。
電源ランプ(緑)が消えていることを確認して下さい。
UPSは下記のいずれかが設置されています。



OMRON POWLI BZ-50T



OMRON POWLI BX-50F

以上で、PCの電源の切断は完了です。

《PC本体の電源の入れ方》

- ① UPS(無停電電源装置)の電源ONボタンを押し、電源を投入して下さい。
電源投入時にピーと音が出る場合がありますが、音が止まるまでお待ち下さい。
- ② PC本体の電源ボタンを押し、電源を投入します。緑ランプが点いていることを確認して下さい。
PC電源投入後、5~10分程度で自動的にタイトル画面まで立ち上がります。
※タイトル画面になるまで動作していないように見えますが、自動で起動するようにソフト(遅延起動など)が動作していますので、そのまま何も操作せずお待ち下さい。
- ③ タイトル画面まで起動しましたら、データの表示、リアルタイム更新されているか確認して下さい。

以上でホールコンピュータの起動は完了です。

<停電時や電源切断した場合の注意事項>

- ※ 停電が発生した場合でも、ホールコンピュータにはUPS(無停電電源装置)を取り付けておりますので数分間はUPSのバッテリーで電源が保持されます。バッテリーに切り替わるとUPSからはアラーム音が鳴り始め、停電を3分以上検知すると、接続されているパソコンをシャットダウンさせて電源を切断し、パソコンを停電から守るよう動作します。
- ※ ただし、あらかじめ停電がわかっている場合は、UPSへの負荷を軽減するため、上記手順にて対応していただくようお願いいたします。
- ※ 営業中にホールコンピュータのパソコン電源が切れてもそれまでの本日データや過去データは随時データ保存用ハードディスクに保持されていますのでデータが消える、クリアされるといったことはありません。過去データは毎日別のハードディスクにバックアップされておりますので万が一ハードディスクが故障した場合でも前日データまでには復旧が可能です。万が一パソコンが故障した場合でもパソコン交換を行えば故障するまでのデータまでに復旧することは可能です。
- ※ 現在のデータは島側にある島ユニット、台ユニットが保持しています。電源が切れてもそれまでのデータが消える、クリアされるといったことはありません。
- ※ クリア操作されていれば島ユニット、台ユニットは電源が入ればデータを計測し始めます。事務所ホールコンピュータが起動し通信できるようになればそれまでのデータもすべて自動で吸い上げますので基本、データの欠落や特別な操作が必要といったことはありません。
- ※ 任意で電源を切る場合でも、事前の閉店操作や、電源を投入後、クリア操作が必要といったことはありません。クリア操作してあればパソコン電源を切っても電源が入って起動してから継続してデータ計測、集計を行い、閉店操作によって期間データとして記録するようになっております。
- ※ ホールコンピュータはAM5時が日替わり時間となっています。0時を過ぎてもAM5時までには閉店操作を行えば当日データとして保存されます。AM5時を越えて閉店操作した場合は翌日の閉店データとして記録されます。前日の閉店データにするにはメンテナンス作業が必要となります。(状況によってはメンテナンスができない場合もあります。)